

市内小中学校における 1 人 1 台タブレット (iPad) の活用について

1 活用状況について ※6月上旬時点

小学校 17 校、中学校 6 校、すべての学校で活用している。

小学校については、すべての学校が第 2 学年以上で活用している。

(第 1 学年でまだ活用していない 6 校は、活用に向けて準備を進めている。)

中学校については、すべての学年で活用している。

2 活用場面について

小中学校ともに、すべての教科・領域で活用している。

授業時間だけでなく、ドリルの時間、補習の時間にも活用している学校もある。(ミライシード)

3 主に活用しているアプリについて

アプリ名	機能
ロイロノート・スクール	発信・共有・蓄積ができる。双方向のやり取りができる。
ミライシード (ドリルパーク)	漢字・計算の練習ができる。個に応じた学習ができる。
Google Chrome	インターネットができる。
マップ	検索した建物や施設、地点を地図上に表示し、案内もできる。
カメラ	写真や動画を撮影することができる。
iMovie	複数の動画や画像、音楽を一つにまとめて編集できる。
GarageBand	音楽制作ができる。
Google Earth	世界中の衛星写真を閲覧し、目的の場所を表示できる。
Microsoft Teams	チャット、音声通話、ビデオ会議、ファイル等の共有ができる。
Microsoft Forms	アンケート、テスト、投票を作成し、収集できる。

4 活用事例について

小学校では、ロイロノート・スクールのカメラ機能を使い、写真を撮影し、それを共有し合うことで学びを深めている。(生活科、算数科など)

中学校では、ロイロノート・スクールのシンキングツールを使い、プレゼンテーションを作成し、学びを交流している。(国語科、英語科など)

5 今後に向けて

1 学期は、小学校低学年でも簡単に使えるカメラアプリの活用が多く見られた。また、授業支援アプリのロイロノート・スクールの活用についても、小中学校を対象にオンライン研修を初級・中級・上級・まとめと 4 回実施し、各校での活用数も増えた。2 学期以降は、学習のねらいにせまるために効果的な活用が進むよう、実践事例の収集・発信及び研修を行う。